

全国市議会議長会表彰



(写真左より) 高知尾議員、萩原議員、大塚議員

6月15日に日比谷公会堂を会場に開催された第87回定期総会において市議会議員として10年以上（町村議員の勤続年数は2分の1として計算）在職し、功労があったとして大塚重忠議員、高知尾正義議員、萩原善和議員、篠崎修前議員が表彰されました。

山武市の美味しい野菜をPR

J R千葉駅イベントスペースで駅ナカ臨時売店を開催（6月22日～24日）し山武市の美味しい野菜をPRしました。

また、全議員からの負担金で購入した「ともろこし」の売り上げは東日本大震災で被災された方々を支援するための義援金として、公益財団法人千葉日報福祉事業団を通じて寄託しました。

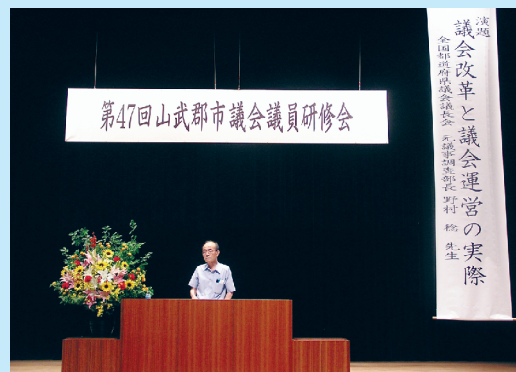


第47回 山武郡市議会議員研修会

7月1日、成東文化会館のぎくプラザで、山武郡市議会議員研修会が開催されました。

当日は、功労者の表彰の後、全国都道府県議会議長会元議事調査部長 野村稔先生から「議会改革と議会運営の実際」という演題でご講演をいただきました。先生は、地方議会に関する法令や地方議会の役割について、事例を挙げ具体的に説明。議会改革の一つと

して「市民に対する議会の報告、市民からの要望の聴取は、執行機関と一緒に行うことで議会への理解や関心が深まるでしょう。」と話されました。市議会としても市民との関係を深く築き上げていくことが大切であると理解し、皆様の声を市政に反映できるように積極的に議会改革に取り組んでいきたいと思います。



議会だより 編集委員会

- 委員長 越川 哲
- 副委員長 蕨 眞
- 委員 大塚 重忠
- 委員 本山 英子
- 委員 高橋 忠
- 委員 小川 良一



議会広報研究会に参加する編集委員

編集後記

東日本大震災と福島第一原子力発電所の原子力災害。この国難ともいえる被災から5ヶ月がたとうとしているのに、いまだ被災者に十分な支援の手が届いていません。いま、多くの人たちが、被災地の深刻な実態を見て「自分も何かしたい」、「被災者の力になりたい」、そういう思いを強め、行動に立ち上がり温かい社会的連帯の流れが起っています。ところが、被災者そっちのけで党略に走る国の政治。いま、政治のあり方が大きく問われています。今度の震災を受け、国や県の指示待ちでなく、これまでの防災計画を見直し、災害に強い山武のまちづくりにいち早く取り組むことが必要です。山武市議会は、この6月定例議会で、「防災・復興対策特別委員会」、「地域医療・高齢者対策に関する特別委員会」、「議会改革特別委員会」を設置し、全議員がいづれかに属しています。議会として、まちづくりへの積極的提案をするとともに、市民に開かれ信頼される議会をめざしています。

「過去の議会と比較すると、内容が充実してきた」などの声とともに、「全体的に議員の質問が不勉強だ」「地方議会の限界を感じる」（6月定例議会を傍聴された方のアンケートより）など、厳しい意見も寄せられました。真摯に受けとめ、議会全体として改善の方向性を打ち出していくことが必要です。

市民に開かれた議会として、より早く、よりわかりやすい議会だよりにするとともに、議会に対する市民のみなさんの声も反映するそんな双方向の議会だよりにしていきたいと思えます。ぜひ、議会を傍聴して、ご意見やご要望をお寄せ下さい。

蕨 眞